

第79回

県展

洋画
日本画
書
写真
工芸
彫塑
華道

地方展

上富田展

令和7年11月12日(水)～11月16日(日)

9:00～17:00

上富田文化会館(西牟婁郡上富田町朝来758-1)

橋本展

令和7年11月20日(木)～11月24日(月・祝)

10:00～17:00

和歌山県立橋本体育館(橋本市北馬場455)

新宮展

令和7年11月28日(金)～12月3日(水)

10:00～17:00※12月1日(月)は休館日

丹鶴ホール(新宮市下本町2-2-1)

本展

第1期 洋画・工芸・彫塑

令和7年12月10日(水)～12月14日(日)

9:30～17:00

和歌山県立近代美術館(和歌山市吹上1-4-14)

第2期 日本画・書・写真

令和7年12月17日(水)～12月21日(日)

9:30～17:00

和歌山県立近代美術館(和歌山市吹上1-4-14)

華道・招待作家部門

令和7年12月10日(水)～12月14日(日)

9:30～17:00

和歌山県民文化会館(和歌山市小松原通1-1)

※12月14日(日)は華道のみ15:00まで

(招待作家部門の華道を含む)

2025

和歌山県美術展覧会

入賞・入選者一覧

■洋画部門

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
赤いトルソーと・・・	朝日 卓志	和歌山市
【優 秀 賞】		
昇華する生命	野上久美代	橋本市
シンフォニー・氷解	前田 量子	海南市
彼岸の果て	山下 真央	和歌山市
浮遊する物	山本喜代美	那智勝浦町
【佳 作】		
ちょっと一息	岩田 邦男	和歌山市
万華鏡 飛びだそうと	小林 洋子	和歌山市
風神雷神図 W (DOUBLE)	鈴木 宏文	和歌山市
創造の中Ⅱ	辻 環	橋本市
Traveler's prayer(旅人の祈り)	中尾 吏加	海南市
無の鼓動	西森 聰子	上富田町
この子達に癒されて	松浪 吉樹	大阪府泉佐野市
雅楽	宮崎 幸子	和歌山市
静	綿野 淳子	海南市
【入 選】		
香り漂うアトリエ	井上 育子	岩出市
sora	岩本 直子	海南市
隠国(熊野)	梅本眞佐子	上富田町
作品 2025	永廣千瑛子	海南市
石堀に座る少年	岡崎 和子	新宮市
洞窟から	岡本喜美子	有田川町
ドリーム	尾田久美子	広川町
LOVE FOREVER	温水起美好	新宮市
月、太陽、空、No2	川嶋 夏生	有田市
髑髏降臨	木村 尚子	橋本市
誕生	栗栖美奈子	和歌山市
死とは忘れる事であり、二度忘れる 事で人は生まれ変わるといふ	栗山 透	和歌山市
Relax	佐々木俊行	和歌山市
刻岩 I	下向 栄一	新宮市
麒麟	高松 美織	白浜町
Hiraeth	竹原 愛	那智勝浦町
湿原のはる	辻本 渡	和歌山市
Remember Music	津本 千絵	御坊市
はじめてのえんどう取り	土井 康雄	紀の川市
愛と希望を	長尾加津子	和歌山市
生と夢のはざま	中尾 心美	和歌山市
御祭礼	中西 信行	御坊市
ハンバーガー！！！！	永春 美月	岩出市
未知	西本喜代美	和歌山市
眺望	橋本八重子	和歌山市
私の守護神	檜 ふじゑ	和歌山市
EMO.1	藤田まゆみ	和歌山市

作品名	作者名	住所
Peace 2025	古谷 登	みなべ町
冬陽	堀田いつ子	和歌山市
可惜夜	丸山 理恵	和歌山市
KUMANO A	山門 佳子	那智勝浦町
民代	山口 正巳	広川町
16：46	山崎りえ子	海南市
溪谷遠望	山田 康廣	和歌山市
色川	山田 悠斗	新宮市
遷	湯川 詩織	白浜町
満ちてゆく	塚本 稔子	和歌山市
とじこめられたところ	横田 真吾	橋本市
キアズマ（交差）	米澤 克典	田辺市
Eyesight	米田 貫雅	和歌山市

■ 日本画部門 ■

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
アンティーク ホテル	加藤 叔子	和歌山市
【優 秀 賞】		
結ぶ	中井 裕子	和歌山市
【佳 作】		
紀伊風土記の丘にて	田中 佳代	有田市
【入 選】		
怒涛	大橋みどり	海南市
マイナスイオンの中で	亀岡 俊和	かつらぎ町
祈りの道	北野有里子	和歌山市
海金剛	栗本 啓子	海南市
日心 月心	酒井 久恵	橋本市
Holiday	時邦 栄圭	太地町
鳴門	集田 信子	和歌山市
ショーウィンドウ	中島 宣子	和歌山市
朝陽	林 美智代	御坊市

作品名	作者名	住所
朝の楽しみ！	中家 英夫	田辺市
樹影	野尻 勝大	和歌山市
6年前の君へ	橋本 都雅	和歌山市
惰性	林 鈴子	和歌山市
凝視	日高 明宏	湯浅町
過酷な栄誉	細川信太郎	印南町
天も地も光の帯	堀内 勇	橋本市
レンズの向こう側	森川 真衣	有田川町
視点	山口 敏幸	有田市
黙視	山本 一也	御坊市
この一瞬にすべてを込めて	山本 心結	和歌山市
春海	吉村 登	和歌山市
風の音	吉本 欽哉	和歌山市
古木の神	米村 昌則	和歌山市
ファイアーブロー	米本 俊信	大阪府岸和田市
Sweet Dream	脇村 和宏	和歌山市

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
Vulnerable	吉増 柚花	和歌山市
【優 秀 賞】		
乾漆花器 双	嶋本 弘子	和歌山市
【佳 作】		
緑風	磯田 好子	古座川町
開けゆく世界	谷本美保子	大阪府大阪市
【入 選】		
咲き誇れ	梅野 京子	湯浅町
魂の向かうところ	えかわたえこ	岩出市
織部釉花器	久我口文雄	和歌山市
ゆすらうめの実の想い出	佐々木知子	和歌山市
Brise	嶋田 雅樹	日高町
薫風	高井 良子	橋本市
舞風	高橋 恵子	橋本市
ソウルにて	田中 淳子	和歌山市
漣	南山 燈人	岩出市
紅葉	西岡伊津子	大阪府阪南市
さざ波	日裏 幸代	印南町
循環	山田富美子	橋本市

【優秀賞】

【佳作】開けゆく世

咲き誇れ

織部釉花器Brise舞風漣さざ波[illegible]

【最優秀賞】			
風の音	田村	元	和歌山市
【優 秀 賞】			
生死不定	澤	守彦	紀の川市
【佳 作】			
梵への道	木下	誉国	和歌山市
【入 選】			
昇流	烏	龍	串本町
四輪駆動自転車-R	垣下	義富	新宮市
ダイバーに人気のコブダイ	小南	重三	高野町
無意味という価値	出原	直武	和歌山市

【優秀賞】

【佳作】

【入 選】

昇流	鳥	龍	串本町
四輪駆動自転車-R	垣下	義富	新宮市
ダイバーに人気のコブダイ	小南	重三	高野町
無意味という価値	出原	直武	和歌山市

■ ■ 華道部門

【最優秀賞】	中屋知佐子	有田川町
【優 秀 賞】	西 厚美	美浜町
【佳 作】	竹田ちなみ	和歌山市

【優秀賞】

【佳作】

竹田ちなみ 和歌山市

出品された方の人数を基準にすれば約 1.5 倍となる倍率の審査を経て、54 点の作品が入選となりました。一次審査では 10 名の審査員それぞれが、これはと思う作品に挙手をしていき、挙げた手の数を得票数として入選作品を決定しました。これに続いて同様の手法で何度も審査を繰り返し、入賞作品を決定しました。総じて、すでに自身のものとして取り組む画題やモチーフ、あるいは画風といったものをある程度、見定めることの出来ている方の堅実なお仕事に対して、安定した評価が与えられたように思います。一方、選外となった作品についても、技術的な面や構図力などにおいてはあと一歩という評価が下されたかもしれませんが、それぞれにはきらりと光る個性の輝きがありました。入選に及ばなかった方々の中にはまだ若い作家の方もおられたのではないかと想像しますが、今回にめげず、これからも描くことを楽しみながら続けていていただきたいと思います。

(小林 公／兵庫県立美術館課長（特別展・国際交流担当）・学芸員)

最優秀賞



赤いトルソーと・・・

朝日 卓志 (和歌山市)

赤いトルソーを中心に規則的なリズムのあるタイル柄のバックとアンティークな置物の絶妙な配置が、愉快で不思議な作品となっています。2023・2024 年は鮮やかな赤のトルソーだったと記憶しますが、今年は抑えた色調の赤いトルソーに物を持たせ、トルソーの後ろにあった斜めの赤いストライプがなくなり、代わって焦点の定まらぬ怪しい石膏像の眼が登場したのは、どのような心境の変化があったのでしょうか。いつか、今まで以上に真っ赤なトルソーで色価（しきか）（=valeur（ヴァールール））の高い作品を観てみたいと筆者は思っています。

(三隅 俊昭／洋画家)



昇華する生命

野上 久美代（橋本市）

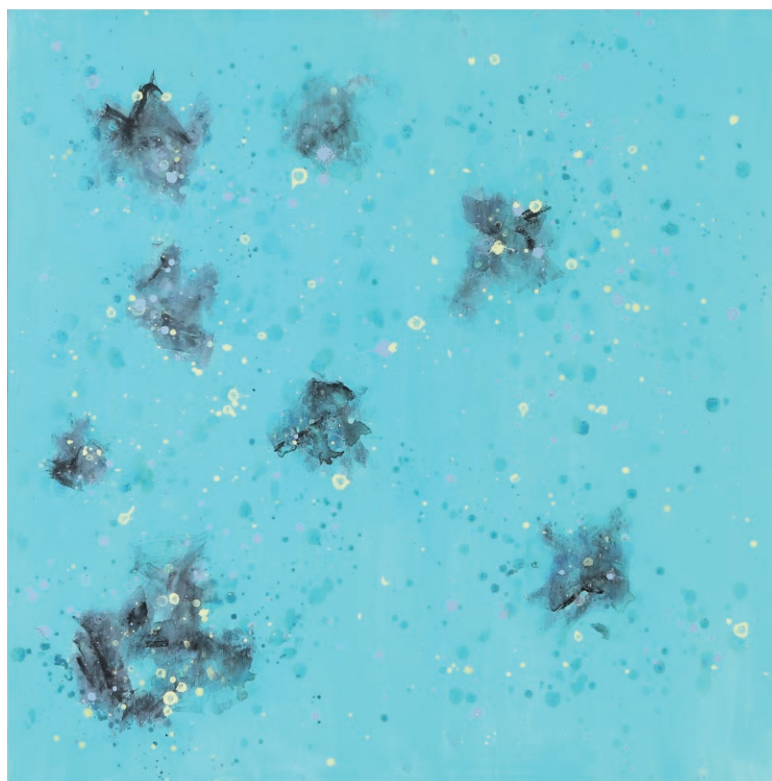


シンフォニー・氷解

前田 量子（海南市）



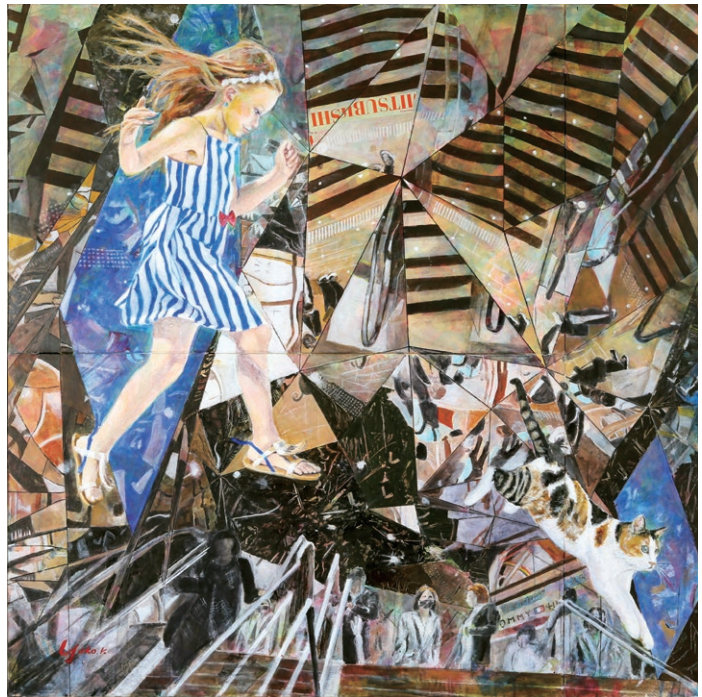
彼岸の果て
山下 真央（和歌山市）



浮遊する物
山本 喜代美（那智勝浦町）



ちょっと一息
岩田 邦男 (和歌山市)



万華鏡 飛びだそうっと
小林 洋子 (和歌山市)



風神雷神図 W (DOUBLE)
鈴木 宏文 (和歌山市)



この子達に癒されて
松浪 吉樹（大阪府泉佐野市）



創造の中Ⅱ
辻 環（橋本市）



無の鼓動
西森 聡子（上富田町）



雅楽

宮崎 幸子 (和歌山市)



Traveler's prayer (旅人の祈り)

中尾 吏加 (海南市)



静

綿野 淳子 (海南市)

日本画

今回の選考では、挙手によって入選作が決まった後、4回投票を繰り返し、丁寧に入賞作を決めていきました。海外風景、人物、国内風景と、異なるジャンルから1点ずつ選ばれる結果となったことは、偶然です。日本画は説明的な描写が苦手ですが、想いを一つのモチーフに託したり、季節・風景等によって引き起こされた感情を象徴的に描いたりすることが得意です。今回入賞した3作品は、他の作品に比べてこの点がより強く意識されていたもので、技術面や努力の面で差がついた訳ではありません。毎年、心揺さぶられた体験を、扱いのむずかしい画材を用いて、ある程度の大きさの画面に描き切るのは、精神的にも体力的にも時間的にも大変なことです。全てが合致する時は必ずやって来ますから、賞のあるなしは時機のせいと考えて、粘り強く制作を続けていっていただきたいと思います。

(小倉 実子 / 京都国立近代美術館主任研究員)

最優秀賞



アンティーク ホテル

加藤 淑子 (和歌山市)

室内風景と窓越しに見える街並とで画面が構成されています。ガラス窓を通して見る景色が少し鮮明すぎるような気もしますが、光はよく表現されていると思います。様々な色を塗り重ねることで、画面が統一化され、空気感のある心地よい場景が描かれています。扉の向こうにいる人の気配まで感じとれ、作家の高い技術が伺える最優秀賞に相応しい作品です。

(増田 淑子 / 日本画家)

優 秀 賞



結ぶ

中井 裕子 (和歌山市)

佳 作



紀伊風土記の丘にて

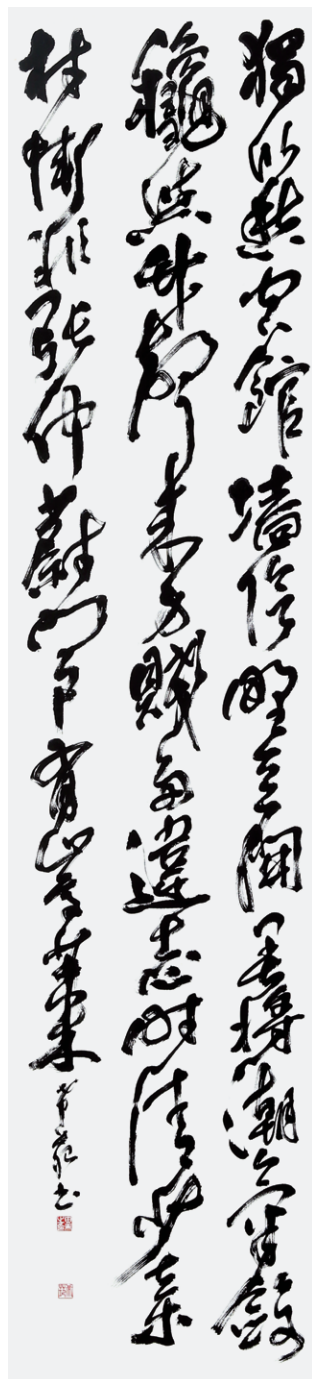
田中 佳代 (有田市)

第79回展の審査を終えて、応募点数56点。内訳は漢字28点、仮名25点、その他3点（調和体1点、篆刻2点）と昨年とほぼ同等の点数であった。

審査は9名の審査員により厳正に行われた。全体的に漢字作品は流動性に富んだ行草体が多く、一貫した流れとともに文字の大小・線の太細・緩急の変化に渴筆を活かした表情の豊かな作、仮名作品は気脈が通り雅やかな仮名の世界が表現され、大字仮名はのびのびとした運腕で個性豊かな工夫が見られた。優秀賞の仮名の縦作品は、大胆に筆が動き墨への配慮もあり渴筆の美しい華のある作品であった。今後益々の発展を期待したい。

（中尾 琴麗 / 毎日書道展審査会員）

最優秀賞



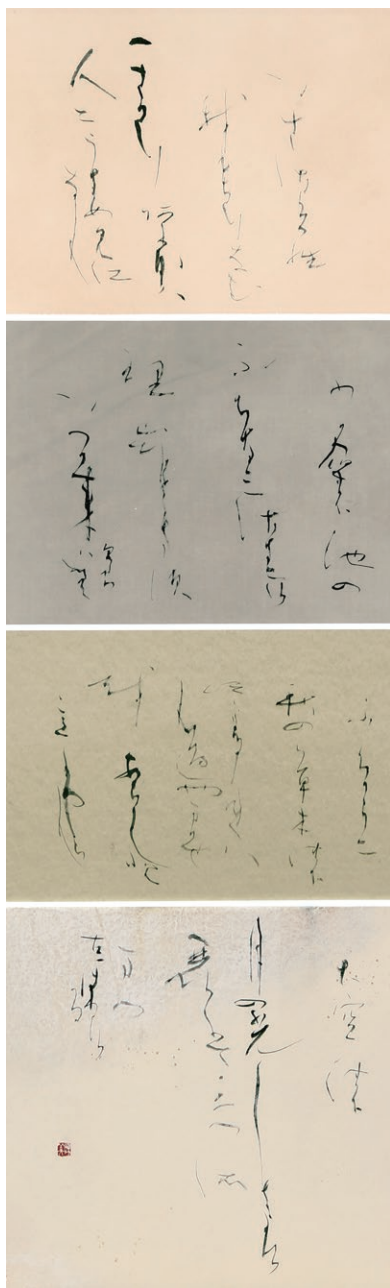
高青邱詩

西濱 希苑（田辺市）

天馬行空の如く、縦横無尽に沸騰を漲らせる気迫の書。特に渴筆の開閉が見事にコントロールされ、作品をより奥行きのあるものへと表現しています。

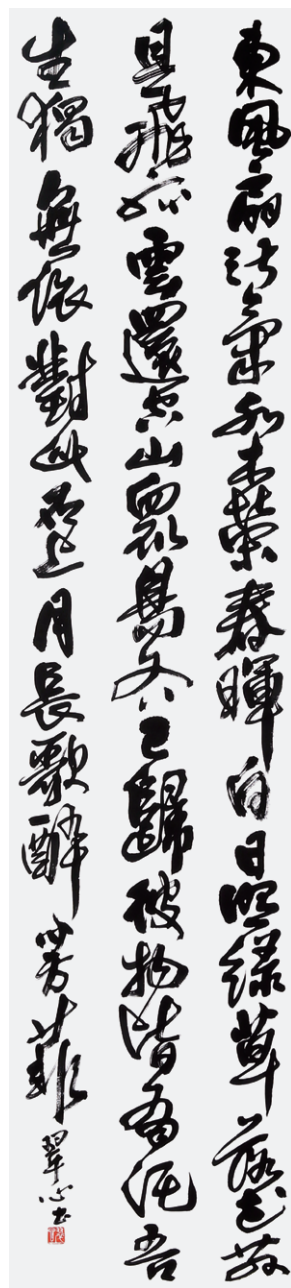
文字の構えが実に大らかで、行間の呼応にも配慮が行き届いた大胆かつ細心の優品と申せます。

（松村 博峰 / 書家）



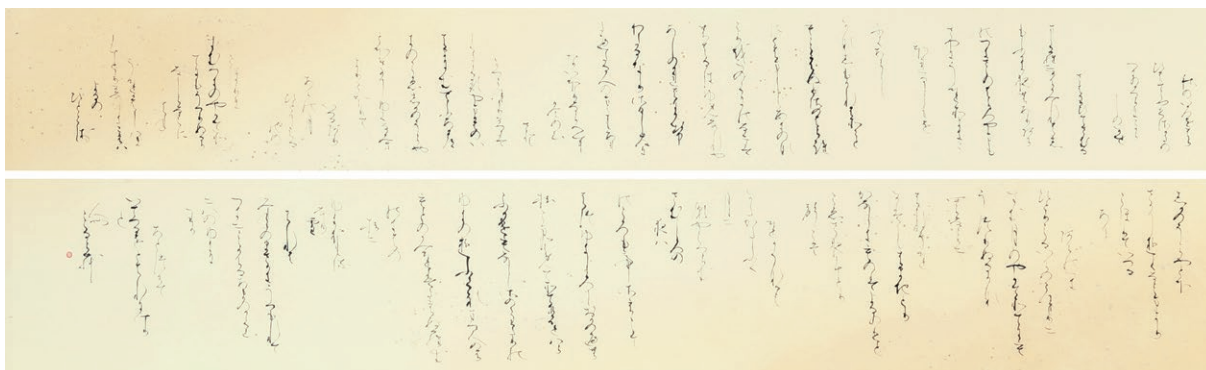
さくら

木下 和美（和歌山市）



春日獨酌二首

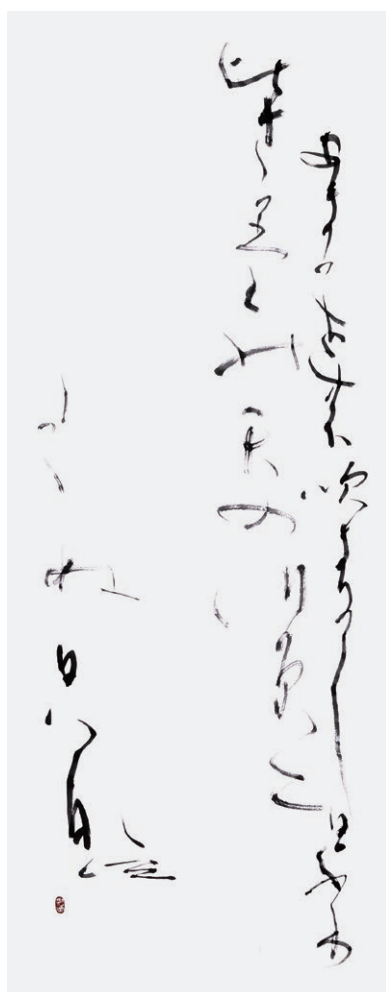
白石 翠心（和歌山市）



秋の色を

松井 淳子（紀の川市）

佳作



秋風の

網代 知加（和歌山市）

寧々若蓮字起所也乃永名唱自秋廣臥堂
 浮都 圓月皆碧也孤塔高也影也落樹
 猶承竹深波之冷也馬雲華教明月上高顏

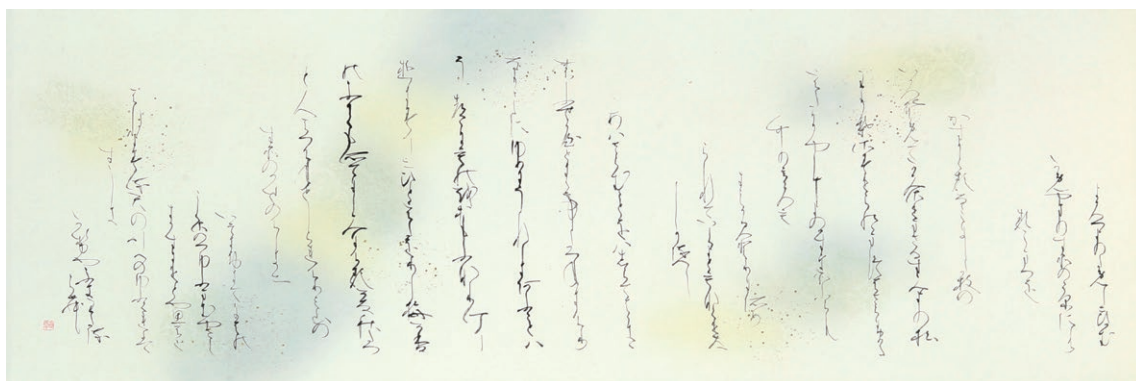
靈峰山房夜起
 阿瀬 美香（海南省）

結交自童稚一相成不離秋風以苦道處重霜
 義氣留矣苦不能忘君道遠海深波深高山
 高鴻在稀此衷元安懸慮幾君來何

范路の詩
 中道 純僊（新宮市）

掛席幾千里名都未達河丹澤陽郭
 如見香爐峯當年當信是道傳永懷廣外
 從東林結舍旦暮有王蘭

孟浩然詩
 山本 二蓬（田辺市）



よろづよの

岡本 眞雲（紀美野町）



脚下照顧

中村 幸恵（大阪府阪南市）

写真

本年は110点、95名の応募があり、昨年同様、力作ぞろいであった。傾向としては、組写真の応募が多く、そのまとめ方もうまく、審査員の間でも評価が分かれる場面があった。何度も審査を重ねたうえで、最優秀賞1名、優秀賞4名、佳作10名を選出したが、いずれも見応えのある作品である。

デジタルカメラの普及により撮影自体は格段に容易になったが、デジタル修正の強すぎる作品や、もう一步シャッターチャンスや四隅までの画面構成に気を配ってほしいと思う写真も少なくなかった。風景写真においては、既成の美しさの踏襲だけでなく、その土地が持つ独自の風土を自らの視点で掘り下げ、表現してほしいと感じた。

来年は記念すべき第80回を迎える。老若男女を問わず、多くの方が挑戦し、写真表現の可能性を存分に示してくれることを期待している。
(説田 晃大 / 入江泰吉記念奈良市写真美術館主任学芸員)

最優秀賞

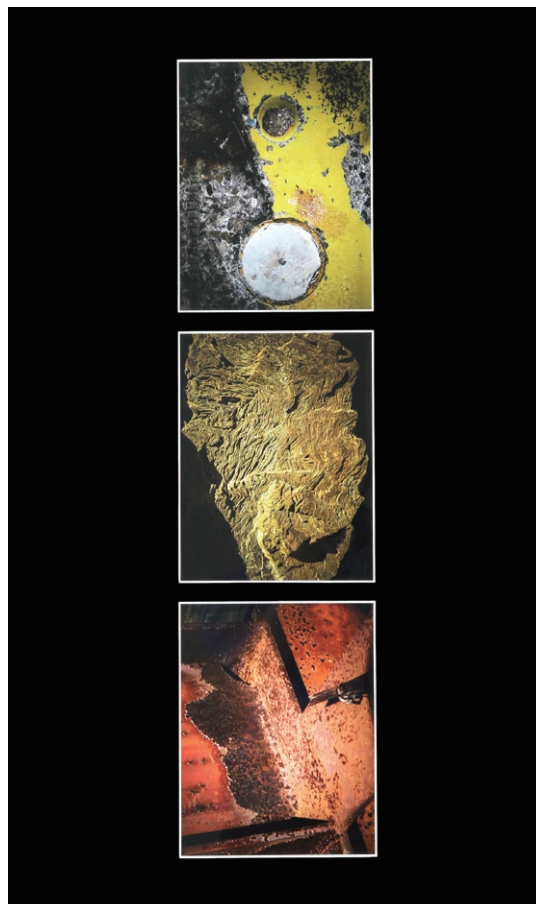


願

石橋 洋一 (和歌山市)

参拝しているのは親子でしょうか。2人は硬い冷たい石段の上に正座し、頭を深く下げ、願い事をしているようです。プリントが暗いので分かり辛いですが、右の人は靴を脱いで拝んでいます。何をお願いしているか知る由もありませんが、この2人の心模様が後ろ姿に滲み出ているように思います。ただ、切り取りが窮屈なので、もう少し周囲を入れた方が、静寂感や空気感も出て良かったのではと思います。

(山中 健次 / 写真家)



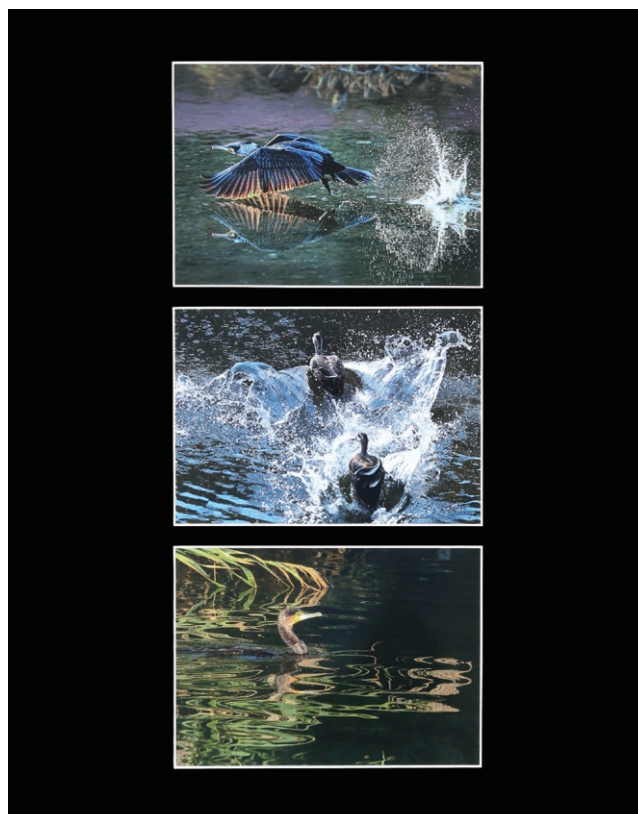
顔・それぞれ

上ノ山 陽子（海南市）



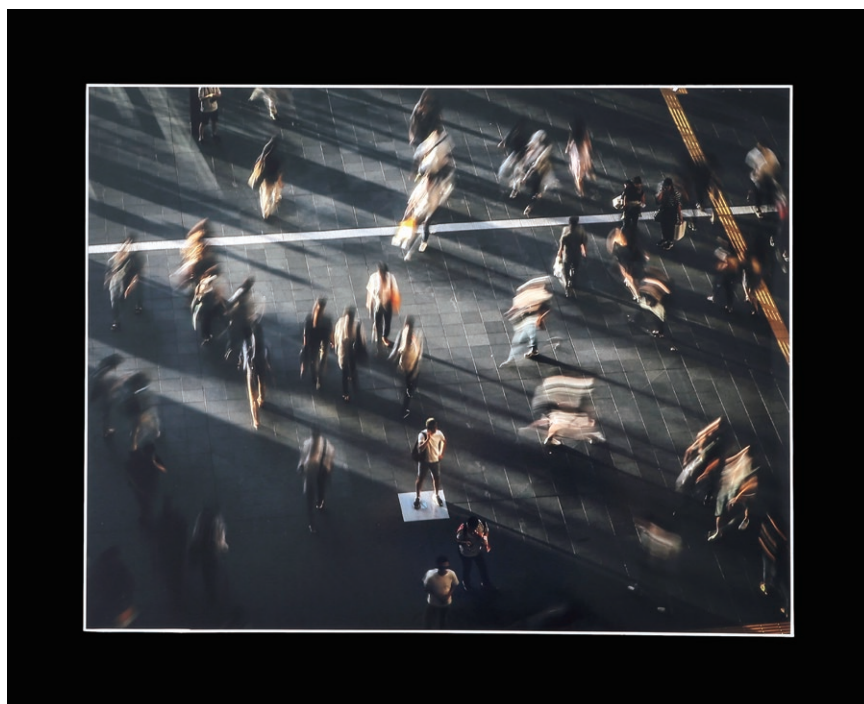
懐旧

笹本 教導（有田川町）



水辺

谷所 清成（海南市）



静止した時間

永濱 雅幸（和歌山市）



消費時代

大橋 寛治（湯浅町）



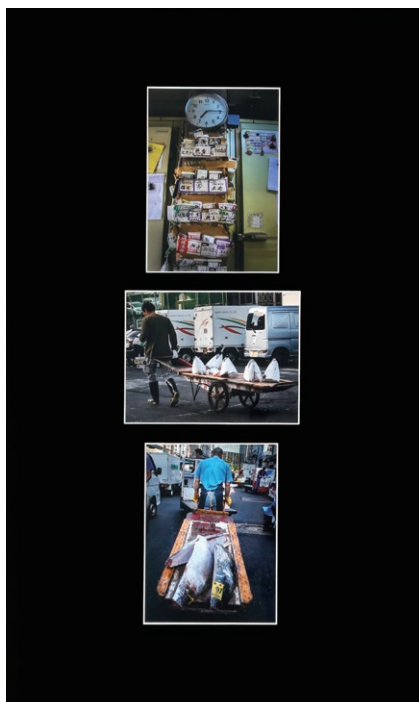
休漁日

面家 陸博（和歌山市）

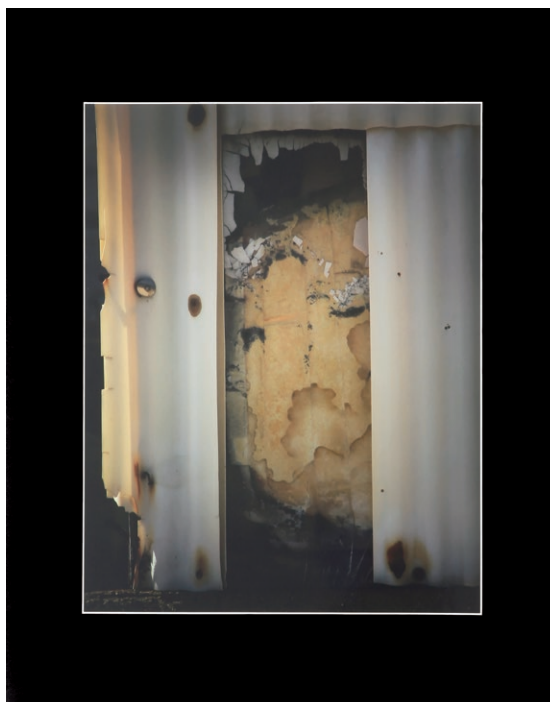


侵入者

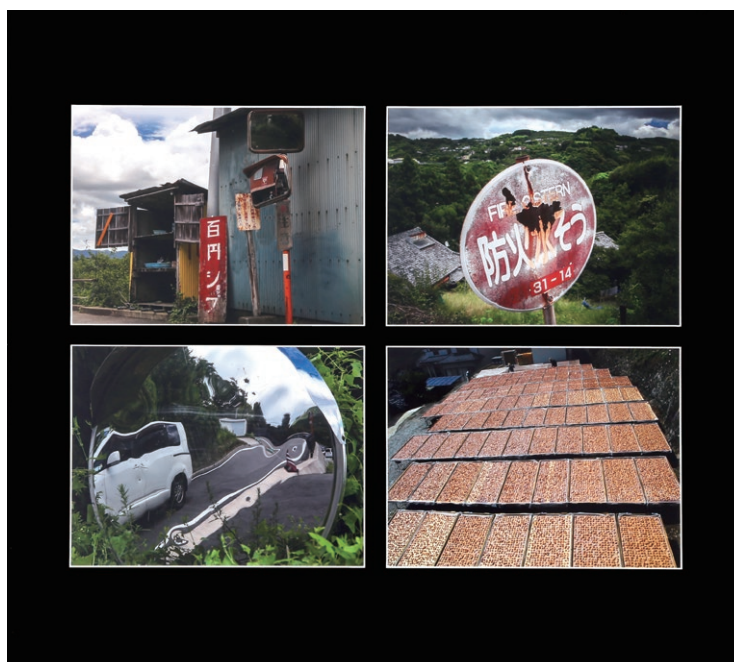
権出 毅一（紀美野町）



築地回想
新家 益代（有田川町）



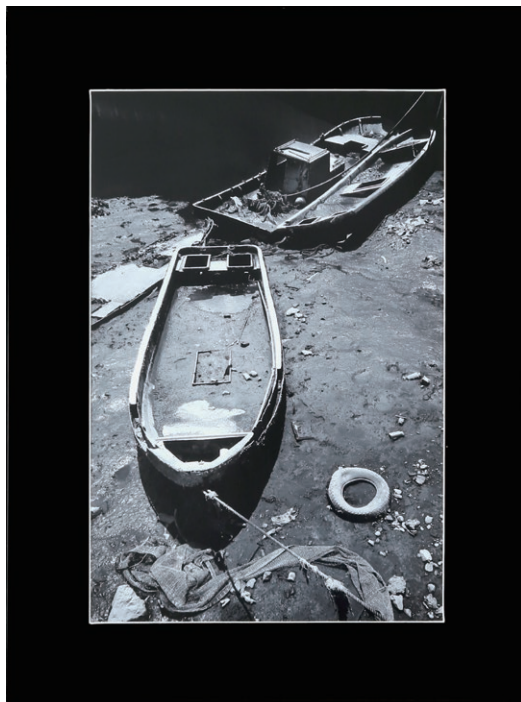
覗く
武面 邦夫（和歌山市）



梅里点描
谷口 幸永（かつらぎ町）



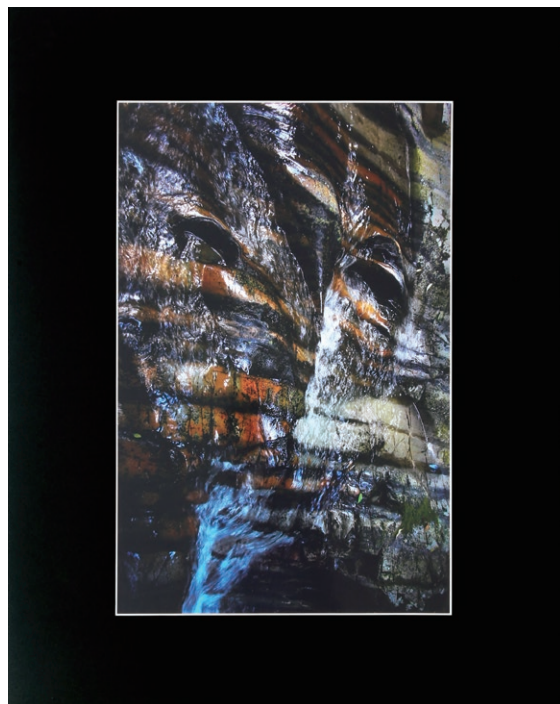
トマト
橋本 由介（海南市）



廃船
前馬 定男（有田市）



爪跡・能登地震
宮崎 美智子（和歌山市）



地殻の聲
宮下 恭子（海南市）

工 芸

工芸部門の応募点数は昨年度より減少しましたが、それでも 25 名による 26 点の作品が集まりました。陶芸作品と染色作品の出品が目立った中、木工芸、漆芸等、多様な工芸分野の作品も含まれ、審査時の意見交換も盛り上がりしました。今回の入選作品においては、どれも確かな技術力・構成力が見てとれますが、既存のフォーマットから抜け出していない「堅さ」が感じられる作品もありました。その中で、最優秀賞に選ばれた作品は、技術力・構成力・メッセージ性の点で申し分なく、その自由で弾けるような表現に高い評価が集まりました。他の受賞者もそれぞれに個性が光り、心を打つ作品だと思います。ぜひ多くの方にご覧いただき、作り手にとっては今後の創作の刺激に、一般の方にとっては日常の中の美への気づきにつながれば幸いです。

(吉岡 恵美子／京都精華大学芸術学部教授)

最優秀賞



Vulnerable

吉増 柚花（和歌山市）

題名の言語は英語から引用されたのだと思われるが、まさに現代の社会を表現しているのではないのでしょうか。作者の心情を想像させられます。技法は二重織の一種の昼夜織の特徴を生かして丁寧に仕上げられています。この技法はどちらかというと手間がかかるため着衣等、身に着けるものに用いられがちですが、タピストリーに仕上げられていることに若者らしい姿勢が素晴らしく、将来を期待したいと思います。審査員全員の推挙により受賞が決まった秀作です。

(田中 紀子／染織家)

優秀賞



乾漆花器 双
嶋本 弘子（和歌山市）

佳作



緑風
磯田 好子（古座川町）



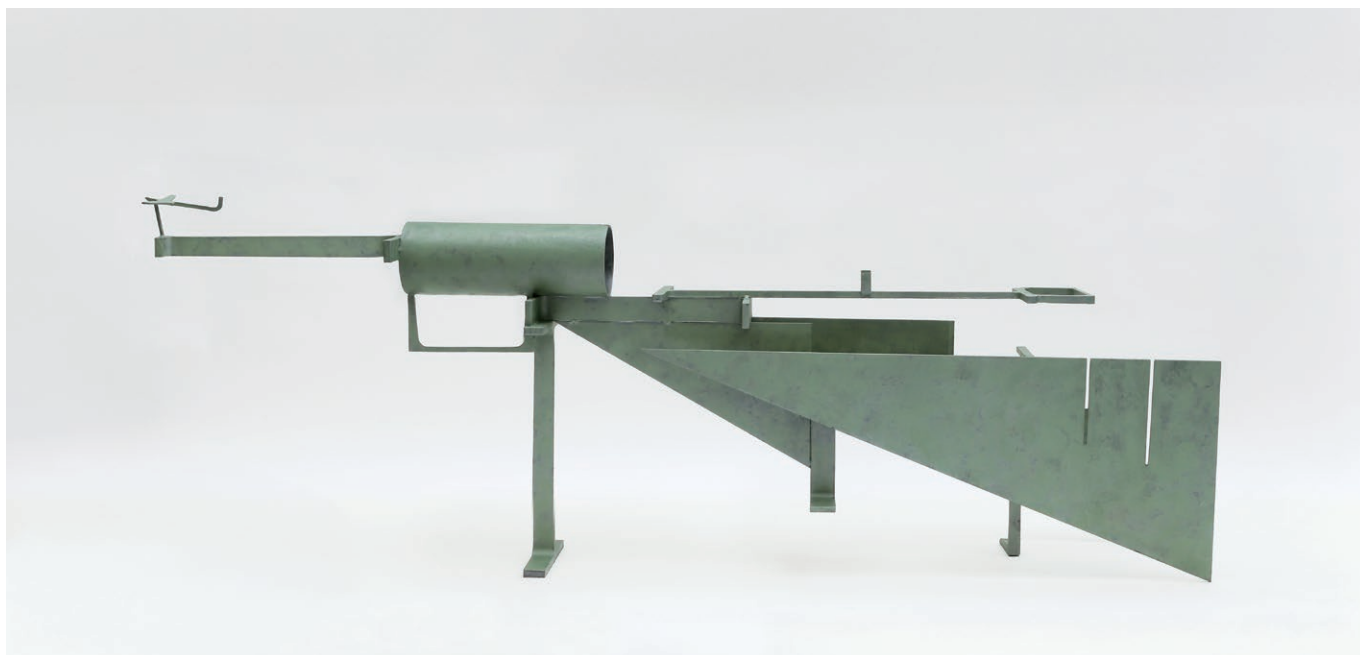
開けゆく世界
谷本 美保子（大阪府大阪市）

彫 塑

3年ぶりに最優秀賞が出たことをまずは喜びたい。《風の音》は鉄を素材とした堂々たる作品で、今日の世界情勢を反映したテーマ設定も見るものに訴える力を持っていた。優秀賞、佳作賞の作品も、それぞれに独創的なアイデアに溢れ、造形的にもユニークな出来栄であった。木彫の作品に関しては入選作品の《昇流》も面白く、和歌山らしいテーマと素材が選択されていた。若い人たちに積極的に応募してもらえたら、今後、いっそう盛り上がることであろう。

(安来 正博／国立国際美術館研究員)

最優秀賞



風の音

田村 元（和歌山市）

作品先端に飛行機を想起させる小さなフォルムは「風の音」の象徴か。

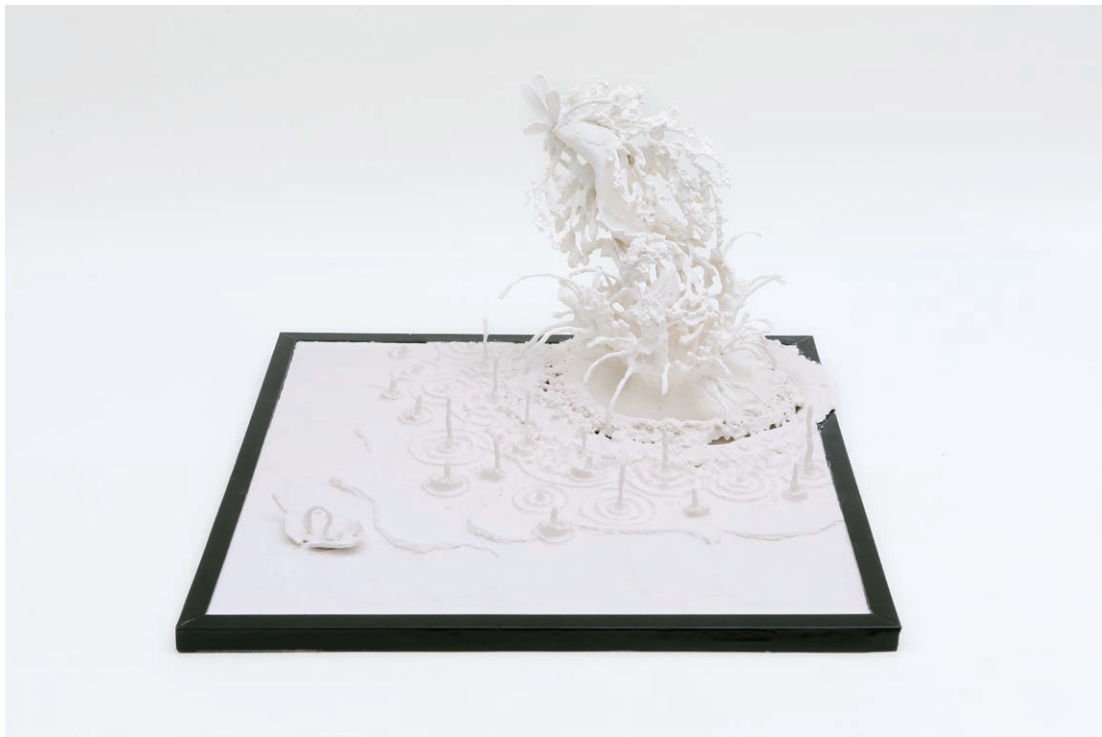
三角形の鉄板と円筒、直線を組み合わせ、斜め上方への動きを出そうと試みたとても丁寧でスッキリとした完成度の高い、鉄を用いた作品です。

ただ、彫刻として作品が自立するためにはどうするのか今一度考えてほしい。作品から受ける印象は「3本の足」のために、とても安定感のある作品となっているところが、少し残念でもあるからだ。

題名「風の音」という軽やかなイメージを具体的に感じさせていたなら、大空へどこまでも飛行するかのよう
な素敵な造形となるのではないだろうか。

(橋本 和明／彫刻家)

優秀賞



生死不定

澤 守彦（紀の川市）

佳作



梵への道

木下 誉国（和歌山市）

華道

登録無形文化財「華道」として令和6年に文化庁へ答申され承認されました。伝統的な様式で季節感の有る作品が昨今の展覧会で減少する中、研鑽された「華道」を拝見させて頂きました。

現代花又は造形花にも、華道に対する研鑽が見て取れました。

これからも、素晴らしい「華道・いけばな」作品が多数出品され和歌山県内の華道部門が活躍されますことを願います。

(梅田 和伸 / 奈良県華道会理事長 一光流家元)

最優秀賞



中屋 知佐子（有田川町）

華道には伝統を重んじる生け方と自由な生け方がある。この作品は前者の方であり、紅葉を思わす山錦を主体に上の横姿の留にお茶の花が咲いている。枝の扱い方を駆使し、枝先に至るまで心を通わせたいけ方である。さらなる精進を期待する。

(池永 喜世 / 華道家)

優秀賞



西 厚美（美浜町）

佳作



竹田 ちなみ（和歌山市）

“招待作家部門” 出品リスト

● 洋 画 部 門

作品名	作者名	住所
窓辺（静物）	【審査員】 榎本 敬子	和歌山市
海の心（未完）	【審査員】 小川 泰弘	海南市
海辺	【審査員】 面矢 元子	橋本市
熊野曼荼羅(玉置山25-3)	【審査員】 楠瀬 伸和	海南市
WORK '25-7	【審査員】 阪本 聡	御坊市
源流	【審査員】 橘 謙一	有田川町
てん	【審査員】 中西 周代	紀の川市
Late-Summer greating to you(I)	【審査員】 三隅 俊昭	那智勝浦町
ペーパークラウン	【審査員】 山本 実	和歌山市
蝶が飛んでいく	明渡 和子	和歌山市
ASOBU	有本ふみ子	和歌山市
ウミオトメ	池田 章子	和歌山市
FUJI	井澤佳代子	紀美野町
朋 2025-D	稲垣 紀子	和歌山市
こいのぼりと雲の精と	岩本 芳	和歌山市
しらさき彩岩	上ノ山博也	海南市
静音	浦木 優	橋本市
刻－綿工場	大林 彰子	和歌山市
提示 '25	岡崎ゆみこ	和歌山市
河口の休日	奥川 祐子	新宮市
星々の彼方への旅	尾崎 功	和歌山市
モリアオガエル	小原千冬子	和歌山市
ひまわりの詩	北澤 恭子	橋本市
貝の詩	坂口 卓平	海南市
バラ	佐藤 円	和歌山市
マンハッタンタ景	島田 博雄	和歌山市
遠い記憶	清水 雅昭	太地町
回想	立本みさほ	和歌山市
惑	田中 淳子	和歌山市
遊	谷澤佐規子	和歌山市
ヴァニタス－自画像	辻 勝己	和歌山市
残生－ 2025	出口久仁子	御坊市
水澄まし	出口 十糸	海南市
浄土寺観音菩薩幻想	出口 由孝	御坊市
溪谷の秋	土井 敏弘	和歌山市
水無月の夜に	土井 久幸	和歌山市
ミモザ満開	中尾 久代	海南市
陽光Ⅱ	中野 和夫	和歌山市
リンゴのある風景	中野 正士	橋本市
共生（静）	中前 光雄	かつらぎ町
空夜	中村 恵伍	和歌山市
館	中森 順一	和歌山市
オーロラの想い	棗 多江子	有田市
大王崎灯台遠望	野崎 廣	和歌山市
わたしの Venezia	藤谷万里子	和歌山市
早朝の富士山（河口湖から）	古川 京子	有田市
颯	保富 仁之	田辺市
浮遊	堀 憲子	和歌山市
紅葉	増田 綱紀	太地町
明日へ・・・	益山 恵	田辺市
Time Sense	松尾摩利子	大阪府岬町
睡蓮	松岡 里美	紀の川市
記録	松谷 弘子	紀の川市
Cry Baby Cry	松山 敏彦	かつらぎ町
想花	松山 充代	かつらぎ町
白いドレスの女	三阪 篤子	和歌山市
バラと水差し	宮本 偉敏	日高町
時代を構成する部分	無井由希子	和歌山市

作品名	作者名	住所
風、誘う	宗 佐代	海南市
fantastic	村下 良子	和歌山市
静物	森岡やす子	和歌山市
深海	安田 澄栄	橋本市
四季の女神ベルセボネの夏	山崎都基子	和歌山市
Half moon	湯川 雅紀	海南市
料理は楽しい	吉田美紀子	和歌山市

● 日本画部門

作品名	作者名	住所
遊	【審査員】 角野千佳子	和歌山市
翔～ここから～	【審査員】 田中 重造	有田市
駅中酒場	【審査員】 増田 淑子	和歌山市
大島桜	【審査員】 吉田晃一郎	和歌山市
「はじめまして」	浦野 糸み	和歌山市
湖畔の秋（青森）	近江友紀子	橋本市
星祭り	小野千寿子	日高川町
白崎海岸	坂梨とき子	和歌山市
牡丹	崎山 誓子	和歌山市
時空旅行	清水 薫	和歌山市
青く浮かぶ階段	鈴木 薫	日高町
紫式部	高橋 佳子	橋本市
波	高幣 佳代	北海道札幌市
遙い空の下	藤井 秀子	大阪府熊取町
一隅の美	南口みどり	橋本市
和の遊び	宮寄 朋子	和歌山市

● 書 部 門

作品名	作者名	住所
Yume-2025	【審査員】 加納 敬舟	和歌山市
禅語句	【審査員】 堂本 雅人	橋本市
ときはなる	【審査員】 戸村 舟里	和歌山市
なき人の	【審査員】 中原 朱穂	兵庫県西宮市
響	【審査員】 西 紅邑	和歌山市
家康遺訓	【審査員】 松村 博峰	大阪府枚方市
五言一句	【審査員】 山本 清雲	和歌山市
大樹を支える	【審査員】 吉村 祥雲	和歌山市
蓮花深處繫蘭舟	赤坂 松琴	和歌山市
あはれてふ	浅井 香園	和歌山市
四季	池田 一華	和歌山市
窮探極覧	池永 碧濤	兵庫県西宮市
汪珍詩	石井 里梅	有田市
獅子舞は…	岩橋 瑞花	和歌山市
白楽天詩	岩本 栄光	紀の川市
梅の盛	上田 大愚	和歌山市
山亭夏日	上野 花園	和歌山市
きみがため	上野 朱煌	和歌山市
龍門造像記	遠藤 美園	和歌山市
歳蘭	岡端 紀苑	紀の川市
獨閑和	小澤 清湖	和歌山市
禅語	川崎 大幹	岩出市
桃華	川瀬 玲舟	和歌山市
星 清き…	岸畑由喜子	和歌山市
歳無憂長安寧	北原 美麗	和歌山市
七言対句	小島 健堂	和歌山市
言中有響	小西 泰鳳	海南市
黄葉	小林 明香	和歌山市
あしひきの	佐藤 祥琴	和歌山市
五言句（明月照積雪）	佐原 草苑	和歌山市

作品名	作者名	住所
蘇舜欽詩	靜 一華	和歌山市
幽勝似僊家	志茂 珠香	和歌山市
良寛詩	須佐 翠山	和歌山市
おく露に	角谷 真寿	和歌山市
獨歩憐紅葉	瀬藤 翠琴	岩出市
晴窓靜繙書	高木 久琴	和歌山市
直感精読	高田 佳鳳	和歌山市
唐詩	谷口 和光	紀の川市
こころ	田端 弓耀	和歌山市
心如淵泉	田村 剛	和歌山市
月よみの	辻 昂鳳	橋本市
幸運は誰の門も一度は叩く	出口 抱琴	和歌山市
木枯や	土肥 歌舟	和歌山市
愚庵即事	中村 東光	和歌山市
万葉集	中家 光苑	和歌山市
漱石画讃	西村 霖風	和歌山市
ふるさとは	西本 紫舟	和歌山市
つくばねの	坂井 恵舟	紀の川市
うめがえに	濱口 朱草	和歌山市
一心不乱	福田 順香	新宮市
晩秋	舟尾 圭碩	海南市
秋はぎの	松倉 映舟	和歌山市
八十路来て	三嶋 昭苑	紀の川市
牧水の歌を	南 雅仙	紀の川市
清雅	南坂 東英	紀の川市
みよしのの	柳川 朱萌	海南市
城ヶ島の雨	吉本 蒼琴	和歌山市
戴表元詩	渡辺 李光	和歌山市

●写真部門

作品名	作者名	住所
ジオに咲く	【審査員】 青木 義雄	有田川町
波	【審査員】 神田真奈美	海南市
軍艦島	【審査員】 照井 四郎	有田市
客待ち	【審査員】 山中 健次	かつらぎ町
白昼夢	陰地 陽人	和歌山市
渚	川口 享子	和歌山市
ガンダムが招く	常田 茂	紀美野町
勇姿	中道 望	海南市
アルプス	花畑 重靖	海南市
明石海峡大橋	武津 孝雄	和歌山市
生きる	宮下健太郎	海南市
寂静	柳岡 正澄	御坊市

●工芸部門

作品名	作者名	住所
青い空の下	【審査員】 井澤 正憲	紀美野町
La primavera	【審査員】 田中 紀子	大阪府茨木市
舞～ろうけつ染～	【審査員】 田中利恵子	有田市
まんだら華・宝石箱	【審査員】 山田 健二	海南市
山楡の木	川口 典久	印南町
那智黒花器	寒川 栖豊	白浜町
布目牡丹紋大皿	嶋本 博文	和歌山市
Rock a bye, baby	澤 幸	紀美野町
都会のオアシス	蓮尾 幸子	橋本市
冬の夜の啓示	古谷 正義	白浜町
黎明	光成トミ子	岩出市
緑釉流滴文壺	宮内 昇	大阪府貝塚市
マキガイノユメ No.2	吉田 絵美	和歌山市

●彫塑部門

作品名	作者名	住所
月の舟	【審査員】 橋本 和明	湯浅町
窓を開ければ	【審査員】 松谷 靖夫	紀の川市
GREAT JAPAN Ⅲ	大木 譲司	みなべ町
指向性を持つ空間	岡本 勝利	広川町
充実 -2025-	鍵野 憲雄	和歌山市
紙ひこうきによって(子供の頃の夢)	日根 宏幸	和歌山市
動かない場所	山根 淳史	上富田町
なかよし	山本(西村)美智子	和歌山市

●華道部門

作品名	作者名	住所
	【審査員】 池永 喜世	広川町
	【審査員】 平田 喜甫	和歌山市
	岡崎 玉苑	和歌山市
	楠石 佳代	和歌山市
	橋本 順雲	御坊市
	福永八千代	和歌山市
	藤井 豊節	岩出市
	宮脇 尚子	和歌山市
	湯川 豊章	和歌山市

第 79 回和歌山県美術展覧会 応募・入賞・入選状況

	入賞・入選点数	最優秀賞	優 秀 賞	佳 作	入 選	出品点数	応募者数
洋 画	54	1	4	9	40	97	80
日本画	12	1	1	1	9	17	17
書	34	1	3	6	24	56	56
写 真	57	1	4	10	42	110	95
工 芸	16	1	1	2	12	26	25
彫 塑	7	1	1	1	4	10	10
華 道	3	1	1	1	0	4	4
合 計	183	7	15	30	131	320	287

審 査 員

洋画

榎本 敬子 (洋画家) 小川 泰弘 (洋画家) 面矢 元子 (洋画家)
楠瀬 伸和 (洋画家) 阪本 聡 (洋画家) 橘 謙一 (洋画家)
中西 周代 (洋画家) 三隅 俊昭 (洋画家) 山本 実 (洋画家)
小林 公 (兵庫県立美術館課長 (特別展・国際交流担当) 学芸員)

日本画

角野千佳子 (日本画家) 田中 重造 (日本画家) 増田 淑子 (日本画家)
吉田晃一郎 (日本画家) 小倉 実子 (京都国立近代美術館主任研究員)

書

加納 敬舟 (書家) 堂本 雅人 (書家) 戸村 舟里 (書家)
中原 朱穂 (書家) 西 紅邑 (書家) 松村 博峰 (書家)
山本 清雲 (書家) 吉村 祥雲 (書家) 中尾 琴麗 (毎日書道展審査会員)

写真

青木 義雄 (写真家) 神田真奈美 (写真家) 照井 四郎 (写真家)
山中 健次 (写真家) 説田 晃大 (入江泰吉記念奈良市写真美術館主任学芸員)

工芸

井澤 正憲 (陶芸家) 西村 修次 (陶芸家) 田中 紀子 (染織家)
田中利恵子 (染色家) 山田 健二 (漆芸家) 吉岡恵美子 (京都精華大学 芸術学部教授)

彫塑

橋本 和明 (彫刻家) 松谷 靖夫 (彫刻家) 安來 正博 (国立国際美術館研究員)

華道

池永 喜世 (華道家) 平田 喜甫 (華道家) 梅田 和伸 (奈良県華道会理事長 一光流家元)



主催：和歌山県
共催：和歌山県教育委員会・和歌山県立近代美術館
和歌山県美術家協会・毎日新聞社和歌山支局
一般財団法人 和歌山県文化振興財団
橋本市・新宮市・上富田町
協賛：公益財団法人 大桑教育文化振興財団
後援：日本郵便株式会社近畿支社

(順不同)

